

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	てんこもりのわ
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	神奈川区松見町3丁目
提案名 (25字以内)	松見町みんなの実家「てんこもりのわ」プロジェクト
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容 ^{※1} を工夫した点 ^{※2} にも触れて記入してください) ^{※1} 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ^{※2} 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>2017年春、近隣に住む幼児の子育て相談をされたことをきっかけに「てんこもりのわ」として活動を開始。主に乳幼児親子、高齢者が集える地域の居場所としてスタートしたが、施設への入りにくさ、中の様子が分かりにくい、部屋が仕切られているため交流が生まれにくいなど、多くの課題を抱えている。またメンバーの多くが町内会役員や民生委員・児童委員等も担うため、利用者以外の地域住民と話をする機会が多く、その際「ちょっとした困りごと」「寂しさ」「不自由さ」を聴くことが増えた。現在より多くの世代を超えた交流を増やすことにより、このような不安を解消できるのではないかと考えた。多くの人が出入りでき、多世代交流が自然に起きる施設になるよう提案をする。(下線部が整備箇所)</p> <p>■土間の新設 現在の門扉と塀、玄関を撤去し道路側に面しているリビングを土間に改修し、入りやすく中の様子が見えるようガラス扉にする。道路に面している出窓部分を出入り口にし、駐車場側の掃き出し窓はそのまま残しながら、そこからも出入りできるように整備する。土間が大きな玄関となり、その場に小箱ショップや情報棚を作り、靴のまま気軽に立ち寄れる場とする。小上がりではひと休み出来るような場を用意する。居間との仕切りは透過性のあるカーテンを取付け、部屋とのつながりを妨げないようにする。</p> <p>■施設の中心のお茶の間 1階の2部屋の間にある引き戸と間仕切り壁を撤去し、見通しの良い1部屋にする。多世代がどこにいてもお互いを感じながら過ごすことのできる、実家の『茶の間』のような居心地の良い場所にする。庭に面する部分にぬれ縁を新しく設置し憩いの場にする。</p> <p>■地域の台所(菓子製造許可キッチン) お茶の間に続く『台所』では、お母さんはもちろん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん等近所の方が季節の料理(例:たけのこ下処理や梅を漬ける)をし、それを教えてもらい、『料理』を通じて多世代交流が自然に発生できる安全な広いスペースを確保した台所に改修。交流のできる対面カウンターも設置する。近所の達人が「得意を披露」できるよう本格的なオープン等を設置し、出来た商品(菓子やパン)の一部を土間の小箱ショップで販売や料理教室ができる仕組みも作る。</p> <p>■安心して使えるトイレ・安全な階段へ改修 トイレは介助者も一緒に入れる広さを確保し、手洗い・手すりを設置し誰もが安心して使える場にする。階段は手すりをつけ、照明器具等で明るくなるよう工夫する。</p> <p>■シャワー室 現在のふろ場を撤去し、庭から直接行ける出入り口とシャワー室を新設する。</p> <p>■ブロック塀と庭の改修 現在あるブロック塀は鉄筋や控え壁がなく、いつ崩れてもおかしくない状態のため、安</p>

	<p>全なフェンスに整備。自転車置き場と庭の間に仕切りを設け、安全に交流できる庭にする。</p>
<p>施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください</p>	<p>『実家』に帰った時に、赤ちゃんからおじいちゃんまで、ひとつ屋根の下でわいわい賑やかに一緒に過ごすことのできる、多世代が顔をあわせる居場所にする。</p> <p>《居場所の日》火曜日・木曜日9:00～18:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流目的だけでなく、ゆっくりしたい、話を聴いてもらいたい、何も目的がなくてもフラットに行ける等、その人のニーズにあった誰でも来られる場にする。 ・今までは乳幼児親子とシニアの決まった人のリピート利用が多かったが、小学生・中高生から中間世代、どの世代の人もここに来られる事を知ってもらうため、定期的なプログラムやイベントを開催し、周知に努める。 ・見通しの良くなった茶の間では、子育ての話をし、先輩パパママの話が聞ける。シニアがお喋りや手仕事をする近くで、子ども達が遊んで過ごせる等、どの世代の人も寛げる場にする。 ・放課後子ども達が「ただいま」と帰ってきて、誰ともなく「おかえり」と迎える関係づくり。 ・中高生以上や仕事をする人が利用できるよう、2階をワークスペースとしてレンタルすることも検討。ホームページに利用状況やオンライン予約ができるようにする。 ・イベント土曜日(不定期)に開催。家ではできない「流しそうめん」や家族連れで参加のできる「音楽鑑賞会」など、世代を問わず参加のできる事を企画し、顔見知りを増やし居場所の利用につながるようにする。 <p>《町の達人の日》水曜日9:00～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガインストラクターやパン作りの達人、英語講師等、地域に様々な特技を持った人がいることが分かっている。その人たちの活躍の場となるよう、施設のレンタルをする。 ・そこに参加する人がてんこもりのわに興味を持ち、利用につながるきっかけにする。 ・地域の中で同じ目的を持った人達が集まることで、交流が広がり深まる。 <p>《シニアの日》金曜日9:00～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より「サービスB・通所型」の開設を予定している。近隣のお年寄りが、遠くのサービスを受けるのではなく、地域の中で自分たちが元気に支え合う時間にする。その際お昼ごはんを、料理の得意な達人に腕をふるってもらう。 ・「ぼっちゃっちゃ(ポッチャの後みんなでお茶を飲む)」「プランターで野菜作り」「折り紙」などシニアの来所のきっかけ・目的になるプログラムを提案する。 <p>以上のように、特に目的がなくても誰でもふらっと立ち寄り、目的のある人となない人がいつの間にか間接的に関わられるような環境を作ることで、顔見知りを増やし、施設以外でも挨拶やおしゃべりができ、お互いさまの関係が生まれることを大切にしていく。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>松見町3丁目は静かな住宅街で商業施設がなく落ち着いた地域であり、親世代・子世代・孫世代の3世代が長く住み続ける家庭も多いため、昔ながらの顔の分かる関係も比較的残る地域である。しかし住宅地ゆえに、町内には大きな公園以外の施設はなく、そのため町内会館を除けば全ての屋内活動は各々の住宅内で完結させなければならぬ。その町内会館も山を跨いだ立地にあり、中は会議室仕様になっているため、利用できる人や目的は限られてしまう。またこの10年ほどで代替わりした家が多く、若い世代の転入が目立つが、短い期間で育休復帰する人が多いため地域住民とつながる機会は少ない。学齢期の親同士がつながるきっかけになっていた子供会活動も現在は最小限となり、長引くコロナ禍で町内会活動も制限があるため、近隣住民の交流の機会も少なくなってしまった。地域でとったアンケートからも、「まわりに相談や話をできる人がいない(少ない)」「近所づきあいがまるでない」「日中孤独を感じる」などの声が、どの世代からも多く寄せられた。家の中では難しいような活動に取り組める場所や、家の外で人と繋がれる気軽な居場所が求められている。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出資・募金のお願い: 耐震費用(300万円)は地権者に援助のお願いをするほか、自己資金、地域住民や企業に出資依頼をする。 ■ 完成イメージ図を近隣のシニア建築士に依頼し今後も協力をいただく。 ■ 解体工事や土間工事、ぬれ縁の設置などは地域住民に声を掛け、イベントやワークショップとして開催し、地域住民との関りを作る。 ■ 応援してくれる地元の大工さんや、リフォーム会社に勤務する利用者に、中古のキッチンや什器の提供、廃材等支援の協力をいただく。 ■ 土間に設置する情報コーナーと小箱ショップの棚や、2階の改修はDIYが得意な地域の協力を得る。
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営</p>	<p>【スタッフ】運営は当初からのメンバー7名がメインで行う。1次審査通過後、協力を申し出てくれたメンバーには、プログラムやイベント時のボランティアのほか、運営にも参加してもらおう。より柔軟な運営ができるよう、さらに担い手を発掘し人材を探していく。</p> <p>【運営費】居場所として施設を利用する際には利用料(会員100円/1日、ビジター200円/1日)や年会費(1,000円)を徴収する。台所や各スペースをレンタルスペースとし利</p>

<p>するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>料金を徴収する。ほかにも、神奈川区社会福祉協議会のふれあい助成金と地区社協、町内会からの援助を得る。令和5年度はサービスB(見守り型)を開設予定。担当ケアプラザと連携をとりながら進めていく。 【広報】アンケートから、Instagramや掲示板から情報を得ている人が多いことが分かった。多くの世代に情報が届くよう、SNSと紙ベースの両方を使っていく。今までは不定期だった『てんこもりのわ通信』を月1回発行予定。今後ホームページも新たに開設予定(協力者あり)。また、メンバーがいつでもチラシを持ち歩き、直接声を掛けることで、この人がいるという安心感につながり、気軽に遊びに来られるよう周知に努める。</p>
--	--

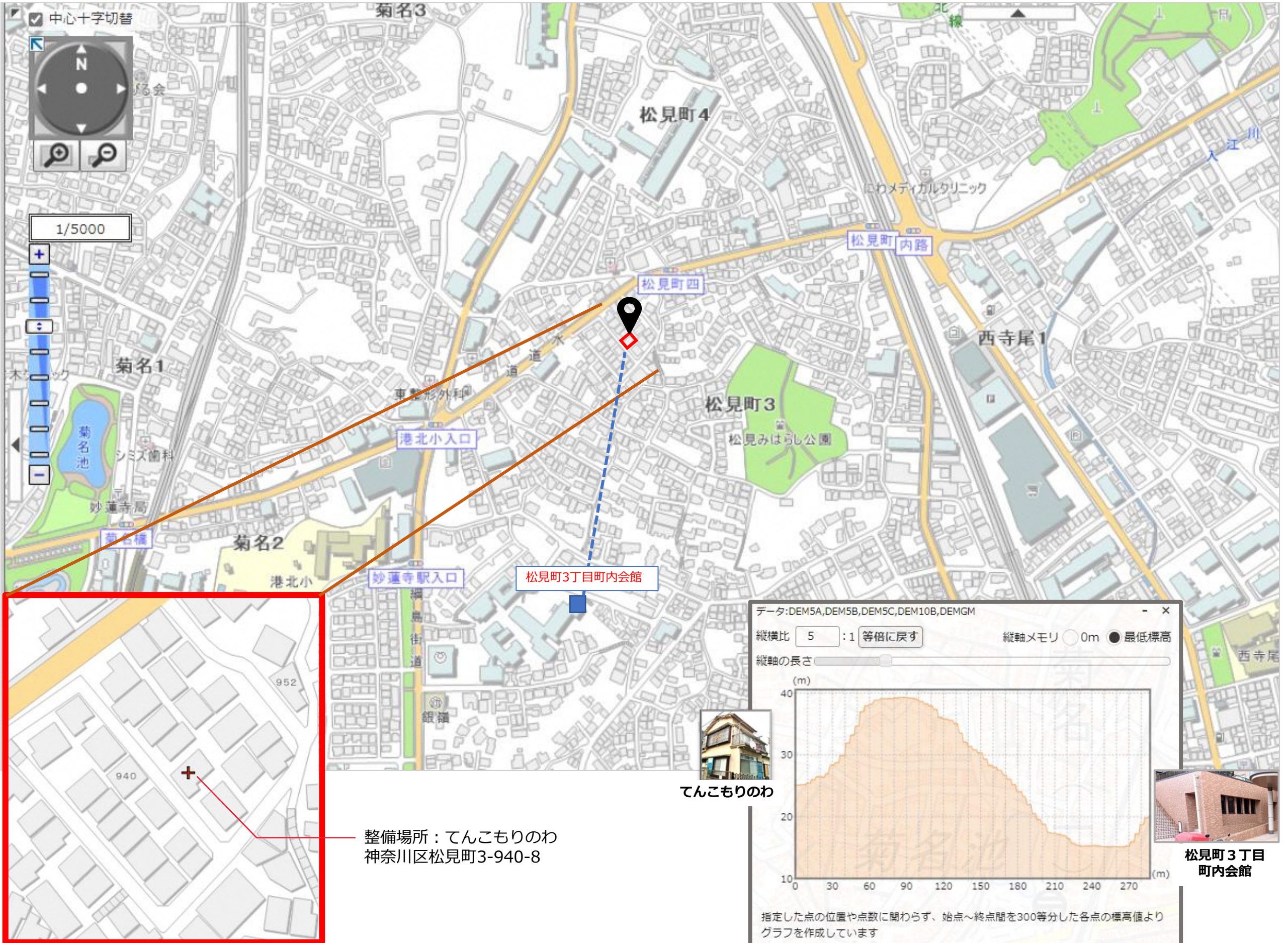
注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

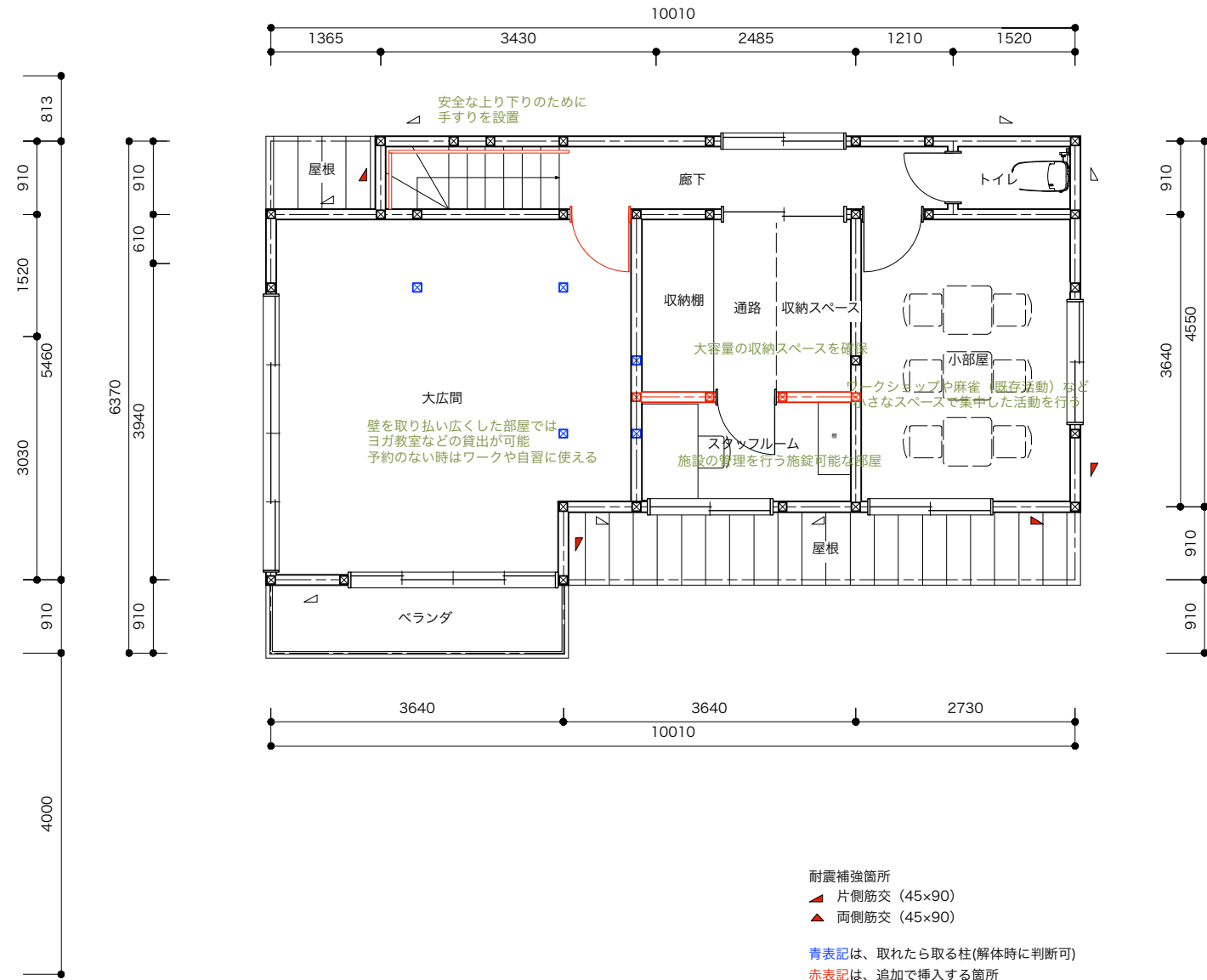
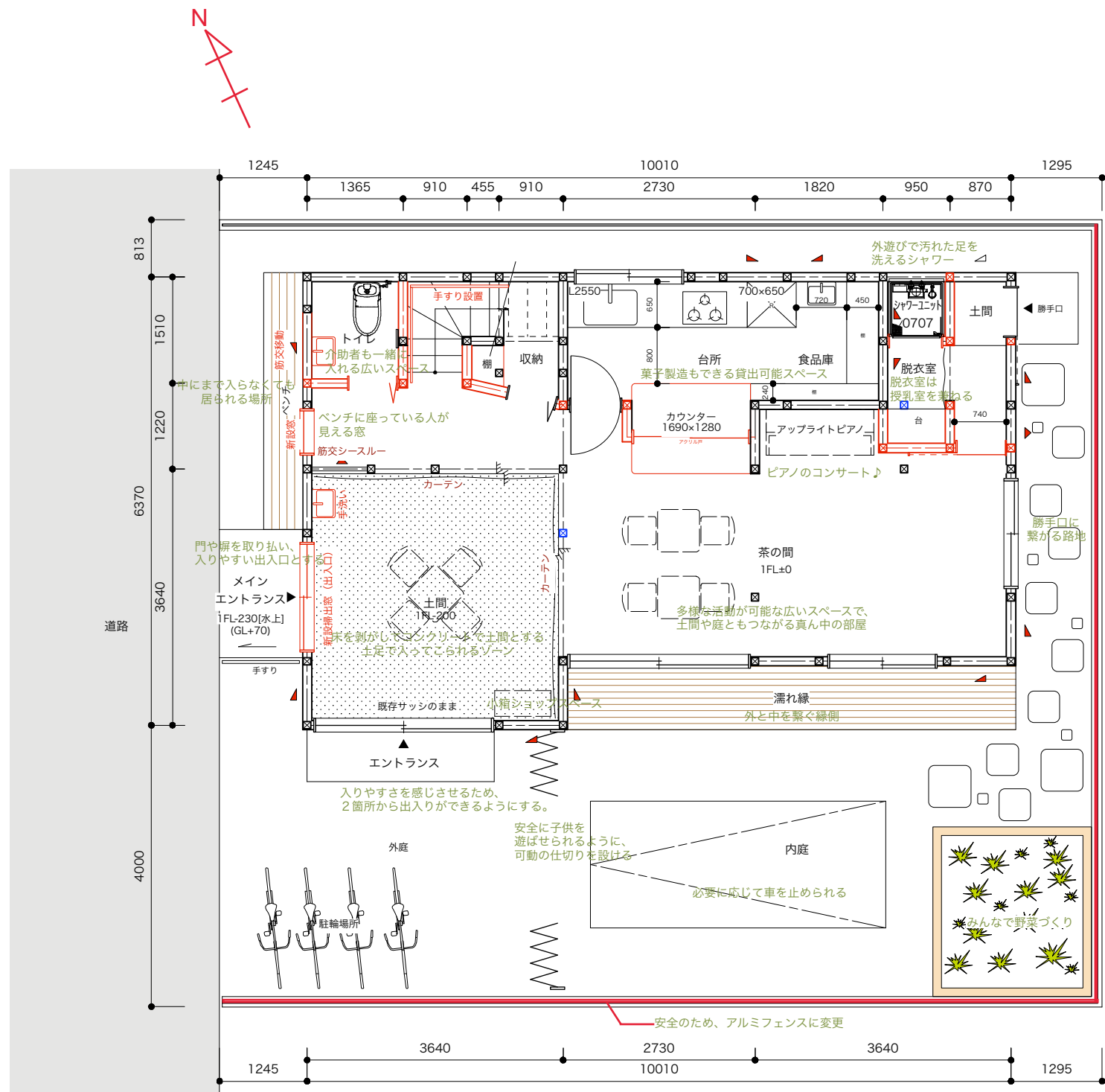
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料(任意様式)に記入してください</p>	<p>■イベントを企画し、てんこもりのわの周知と意見を伺う機会作り。 ・男性利用者を増やす目的で「ひまわり摘み&スイカ割り」 ・町の達人に講座の定期開催を見据えた「ヨガ教室」 ・地域住民の防災意識の向上と家族そろって参加してもらう「防災&木工」 ・広報目的で町内会、かめっ子、かなっぼ等の各団体との共催「あきまつり」 ・利用者が町の達人として「消しゴムはんこ教室」 ■広報活動 ・タウンニュース神奈川区版掲載。 ・1次コンテスト通過のお知らせを発行。町内会掲示板に掲示。 ・Instagram、フォロワー数が3倍近く増える。 ・各イベント終了後「てんこもりのわ通信号外」発行。町内会掲示板に掲示。 ・掲示板が3丁目町内会に加え、9月以降、松見連合への掲示の許可をいただく。 ・チラシ2000枚、パンフレット500枚作成。各方面に説明・配布する。 ■見学 ・まち普請事業通過の先輩事例に訪問、コンテストに向けたアドバイスをいただく。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)</p>	<p>・地権者:了承済み、耐震工事費用も援助して下さる。 ・隣接住民説明:個別説明、了承済み。 ・隣接しているブロック塀は、境界線上に建っているため半分出資の意向をいただく。また「仲間もたくさんいるので、みんなで手伝います」と申し出もいただいた。 ・建物の裏側の住民からも協力の意向、寄付金をいただく。 ・近隣住民説明:約200件に個別訪問、可能な限り説明、チラシ配布済み。その際数多くの声を聴きとり(別紙参照) ・松見3丁目町内会、松見連合町内会の会合で説明、引き続き支援・協力をいただく。 ・神奈川区社会福祉協議会:報告済み。 ・神之木地域ケアプラザ:サービスBの協力以外にも、プログラム等の提案をいただく。 ・民生委員・児童委員、主任児童委員、地区社協の会議で報告。多くの応援の言葉をいただく。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>メンバーの今までの地域活動の経験や、てんこもりのわでの活動、さらに今回の近隣訪問で、それぞれの世代の「困り感」「孤独感」を想像以上に感じる事ができた。世代間交流のできる場所や機会があれば、それも解消できると考える。サービスを提供するのではなく、ここに来たら自然と交流が生まれる、ホッとできるような居場所を目指したい。また今回多くの地域住民と話し「料理の手伝いならできる」「英語の先生」「パン作りが得意」など特技を持っている人が多いことが分かっている。てんこもりのわが『みんなの実家』として、いろいろな人が町の達人なったり生徒になったりする仕組み作りを通じて、街のつながりを育てていく。</p>
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>山、坂が多い地形のためシニアや子育て世代の交流が分断されがちになっているが、居場所の整備と様々な交流の提案をおこなうことで、地域の顔見知りを増やし、ちょっとした見守り・ふれあい・助け合いができるようにしていく。つながりができることで、防災・減災に備えた互助の関係作りができる地域になると考える。高齢化が進む地域だが、高齢者が自分で出来ることは行いながら、住み慣れた地域で長く暮らせるよう近所同士のつながりを大切にしていきたい。高齢者も子育て世代も子ども達も住む人みんなが、孤立することなく、自分の個性を活かしながら自分らしく生活できるような地域を目指す。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



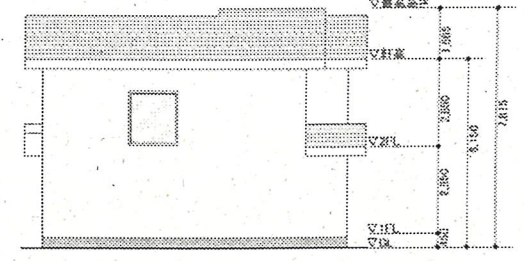
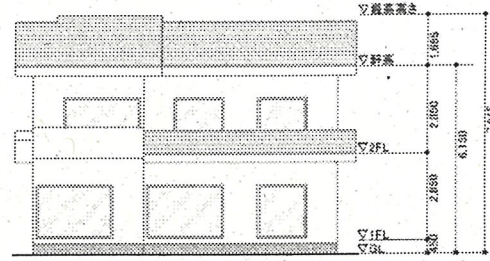
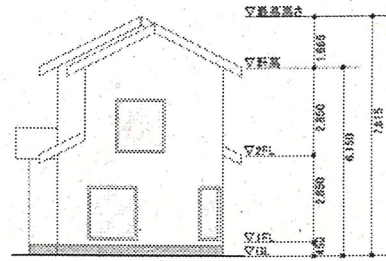
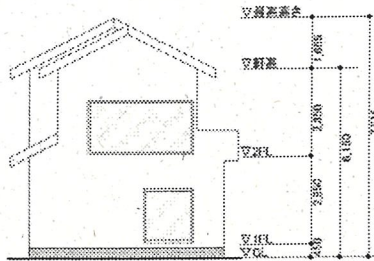


南立面図

北立面図

東立面図

西立面図



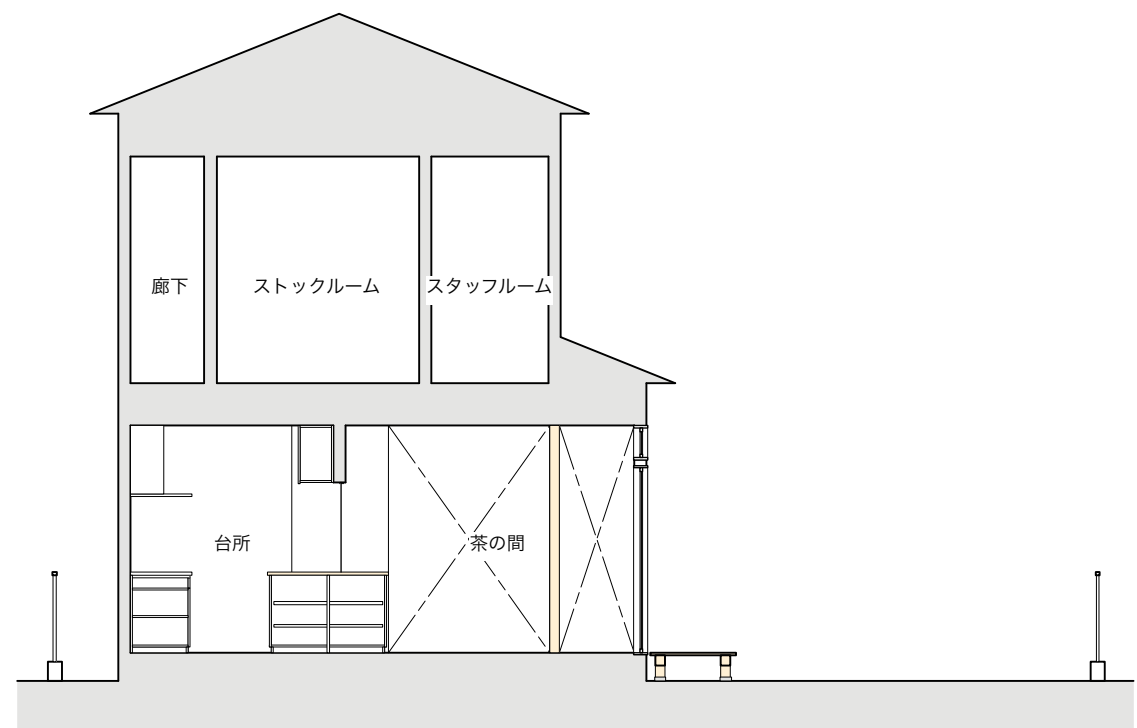
縮尺: 1/190

外観パース





東西断面図



南北断面図

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
共通仮設工事	墨出し、発生材処分費共	一式		200,000	
建具工事		一式		500,000	
階段手摺		一式		150,000	
内装下地工事	耐震に伴う下地工事除く	一式		1,000,000	
内装仕上工事一式		一式		550,000	壁面塗装 地域住民4人×2日予定
住宅設備工事	流し台・手洗い・住設類	一式		450,000	
水道工事		一式		400,000	
電気工事	コンセント・照明機具共	一式		300,000	
ガス工事		一式		150,000	
外構ブロックフェンス工事	既存ブロック解体共(約20m)	一式		500,000	ブロック片付 小学生2人×2日予定
現場監理費 諸経費		一式		500,000	
土間工事		一式		700,000	
ぬれ縁造作工事		一式		200,000	
キッチンカウンター工事		一式		30,000	
ガラス窓サッシ交換		一式		200,000	

ベンチ工事		一式		30,000	
消費税		一式		586,000	
合 計				6,446,000	

- 7月11日 松見町連合町内会会長、松見町3丁目町内会会長報告
- 7月14日 タウンニュース神奈川区版掲載
- 7月26日 1次審査通過をInstagramで報告
- 7月28日 民生委員関東ブロック登壇時に1名参加発表
- 7月30日 町内会掲示板に1次審査通過報告掲示
- 8月 3日 フェイスブック開設
- 8月 4日 ひまわりイベントの告知インスタ(プロアカウント) と掲示板
- 8月 6日 神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえサテライト見学
- 8月11日 ひまわり摘み&スイカ割りイベント・ご近所説明会開催
・公文教室にチラシ配付依頼 以後、相互イベント協力
- 8月26日 現地見学会2名参加
- 9月 1日 子安の丘みんなの家(神奈川区)・神奈川区社協来訪
- 9月 3日 神奈川区ピアツア・ジモティ登録
- 9月 9日 ヨガイベント・ご近所説明会開催
- 9月11日 防災&木工イベント・ご近所説明会開催
・地元建設会社や大工さんに木っ端提供のご協力いただく
- 9月26日 ちゅんちゅんカフェ(戸塚区) 見学3名参加
近隣保育園訪問
- 9月27日 てんこもりのわ通信 号外発行 インスタ・掲示板・回覧板
- 10月10日 松見みはらし公園にてかめっ子「あきまつり」を共催
・3丁目町内会、女性部、子ども会、シニアクラブ、かなっぽと協力
・近隣幼稚園より 遊びコーナーの寄付をいただく
・協力してくれる企業や団体等をメンバーが訪問、たくさんの協賛品
(岩井の胡麻油(株)さま、神奈川区内郵便局さま、キッチンたいむ(株)さま)
- 10月18日 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業説明会オンライン参加6名
- 10月19日 神之木地域ケアプラザ生活支援コーディネーター打合せ2名参加
- 10月28日 4丁目町内会会議 まち普請事業のPR、チラシ配布
- 10月30日 3丁目町内会会議 再度まち普請事業のPR、チラシ配布
- 11月 2日 つみれカフェ(鶴見区) 見学1名
- 11月 8日 横浜子育てパートナー出張相談(利用者2名参加)
- 11月10.25日 松見3丁目ふれあいカフェにて説明・チラシ配布
- 11月18日 港北小学校にて説明、学校側より対象児童へのチラシ配布申し出いただく
- 11月19.20日 松見3丁目作品展にてチラシ配布、説明
- 11月21日 icocca(港南区) 見学2名参加
すくすくかめっ子にてチラシ配布、説明
- 11月23日 利用者お父さんによる「消しゴムはんこ教室」開催
- 11月26日 松見西寺尾町内会会議でチラシ配布、説明
- 12月 5日 松見2丁目西部町内会会議でチラシ配布、説明予定
- 10日 松見2丁目東部町内会会議でチラシ配布、説明予定

この他、民生委員・児童委員会会議、主任児童委員会議、で都度PR説明
神奈川県子育て支援員研修2名受講中



↑タウンニュース神奈川区版7/14



↑かなーちえサテライト パパの協力について



↑イベント報告





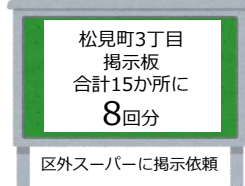

あきまつり







↑チラシ2000枚、パンフレット500枚作成
近隣住民約200戸説明訪問
各施設などにチラシ500枚配架依頼済



↑消しゴムはんこ教室打合せ

<h3>メンバー打合せ</h3>  <p>毎週火・木 17時~19時 合計32回</p>	<h3>Instagram</h3>  <p>36回アップ フォロワー 数68→188 (11/27現在)</p>	<h3>掲示板</h3>  <p>松見町3丁目 掲示板 合計15か所に 8回分 区外スーパーに掲示依頼</p>	<h3>回覧板</h3>  <p>通信など3回 3丁目51班分 4丁目76班分</p>
--	--	---	--

① 1次審査以降の活動・進展・成果

8/11 ひまわり摘み & スイカ割り	9/9 ヨガ	9/11 防災 & 木工	10/10 あきまつり
<p>男性協力者</p> <p>家ではできない体験 協力関係を築く ご近所説明</p>	<p>町の達人 トライアル</p> <p>シニアの日 トライアル 家ではできない体験 ご近所説明</p>	<p>ご近所説明</p> <p>家ではできない体験 協力関係を築く 男性協力者</p>	<p>近隣説明会</p> <p>協力関係を築く 新規協力者 男性協力者</p>
			
<p>□ 男性利用者を増やすために、子育て世代にてんこもりのわを知ってもらおう</p> <p>□ まち普請1次コンテストのパネルを展示し、挑戦していることを参加者全員に周知、説明会開催</p> <p>□ 家ではできないけど『実家』でならできると実際にやってみる ⇒ スイカ割り</p> <p>□ 以前より申し出をいただいていた「孝楽会」様との協力関係作り</p>	<p>□ 『町の達人』を探していたところ、近所のヨガの先生と巡り合え、トライアル実施</p> <p>□ シニア世代にヨガを体験してもらおう(デイサービス等に通わない健康なシニア世代の運動のきっかけ作り)</p> <p>□ 現在の造りで体験イベントをすることにより、今後の改修のイメージを作る</p>	<p>□ どなたでも利用できる防災拠点としての役割を担えるよう周知を兼ねて開催</p> <p>□ 近隣住民だが一度も利用したことのない方に、活動の理解を求める</p> <p>□ 木工を行うことで、子どもから大人まで来てもらうきっかけ作り</p> <p>□ 近隣の大工さんや建設会社に木っ端をお願いすることにより、協力関係を築く</p>	<p>□ 例年開催している、かめっ子の『あきまつり』に共催 人数が集まるよう祝日開催とし、てんこもりのわブースを設けより多くの人に知ってもらおう</p> <p>□ 松見3丁目町内会・シニアクラブ・子ども会、かなっばと連携 活動への理解を求める</p> <p>□ いままでの広報や活動で、手伝いを申し出てくれた方に協力を依頼 関係を作る</p>
<p>□ インスタや掲示板を見ている人が多い</p> <p>□ 通常は母と利用のため、父にてんこもりのわを知ってもらえることができた</p> <p>□ 父から次回のイベントアイデアや、手伝ってもいいよ！など、様々な意見をもらえた</p> <p>□ 孝楽会様と良い関係を築く第一歩となった</p> <p>□ 近隣の公文教室と協力</p>	<p>□ ケアプラザ職員の参加があり、今後の取組について話合うきっかけになった</p> <p>□ シニア世代にヨガは不向きだとわかった⇒『シニアの日』には椅子ヨガや違う体操を提案していく</p> <p>□ 若い世代には子連れヨガを提案できる</p>	<p>□ いままで立ち寄ったことのない近隣居住者が、防災に興味を持ち参加してくれた</p> <p>□ イベント目的で参加した方が「てんこもりのわ」についても知ってもらえるきっかけになった</p> <p>□ 近隣の大工さんに当日の様子を報告し、喜んでいただいた 今後の協力依頼ができた</p>	<p>□ 多くのアンケート回答を得ることができた</p> <p>□ 協力者から「自分の住む町のイベントに貢献出来てうれしい」との声をもらえた</p> <p>□ シニアクラブと子どもの交流が持てた</p> <p>□ 活動を理解し今後の協力や寄付(おもちゃ、寄付金、パソコン)を申し出てくれた</p>
<p>22名(男性：5名 女性：5名 子ども：12名)</p>	<p>8名参加 (女性：7名 子ども1名)</p>	<p>39名参加(男性：10名 女性：11名 子ども：18名)</p>	<p>約500名参加</p>
<p>□ 運営メンバーに男性1名加入</p> <p>□ 参加の父から、今後協力者としての参加を約束(あきまつり協力、消しゴムはんこ講師として11/23イベント開催)</p>	<p>□ ヨガ講師、今後も協力者として参加を約束</p> <p>□ ヨガ教室の定期開催の意向</p>	<p>□ 協力者として近隣幼稚園で木工を教えているシニア男性加入⇒・庭で野菜作りを提案いただく→改修後に行う予定・あきまつり協力</p>	<p>□ 左記3回のイベントに加え、掲示板や口コミで協力を申し出てくれた方7名が協力者として参加、今後の活動協力も約束</p>

《目的》

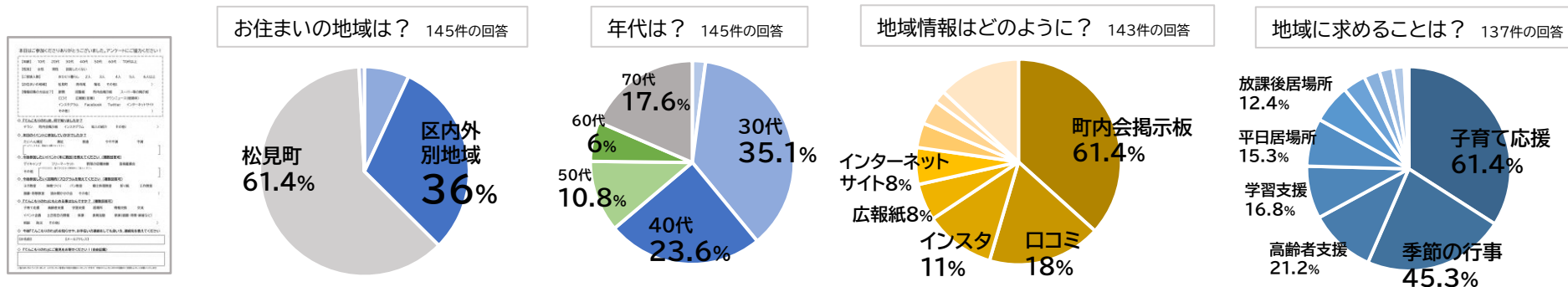
《考察》

《参加者》

《協力者》

② アンケート調査結果

【実施内容】 2022年10月10日(月・祝) 170枚配布、148枚回収



□ 「今後てんこもりのわに協力」と回答 22名記載あり

11/23 消しゴムはんこ教室開催



- 協力者提案のイベント
- 9名参加
 - 男性：2名
 - 女性：3名
 - 子ども：4名

③近隣住民の声：アンケートや近隣住民約200戸にチラシ配布の際に聴き取り世代別に声を集めました

子育て世代（30代40代～）

- ・引っ越してきたばかりで知り合いはほとんどいない
- ・今は育休中で春には仕事復帰予定
- ・てんこもりのわは、年寄(サポートの必要な人)が行くところですよ？
- ・区役所やケアプラザ、子育て支援拠点など公的な場所が遠い
- ・近所づき合いが少ない
- ・まわりに相談できる知り合いがいなく、子育てが孤独
- ・子どもが一人であそびに行けるような場所がない、山越えは心配
- ・長引くコロナ禍のため、気軽に田舎(実家)に帰れない
- ・コロナ禍で学校行事や保護者会も最小限なため同じ学年の保護者とさえ知り合えない
- ・ご近所の知り合い、顔見知りがない
- ・愚痴やおしゃべり、世間話をできる相手がいない
- ・近くの公園に行ってもあまり人がいない

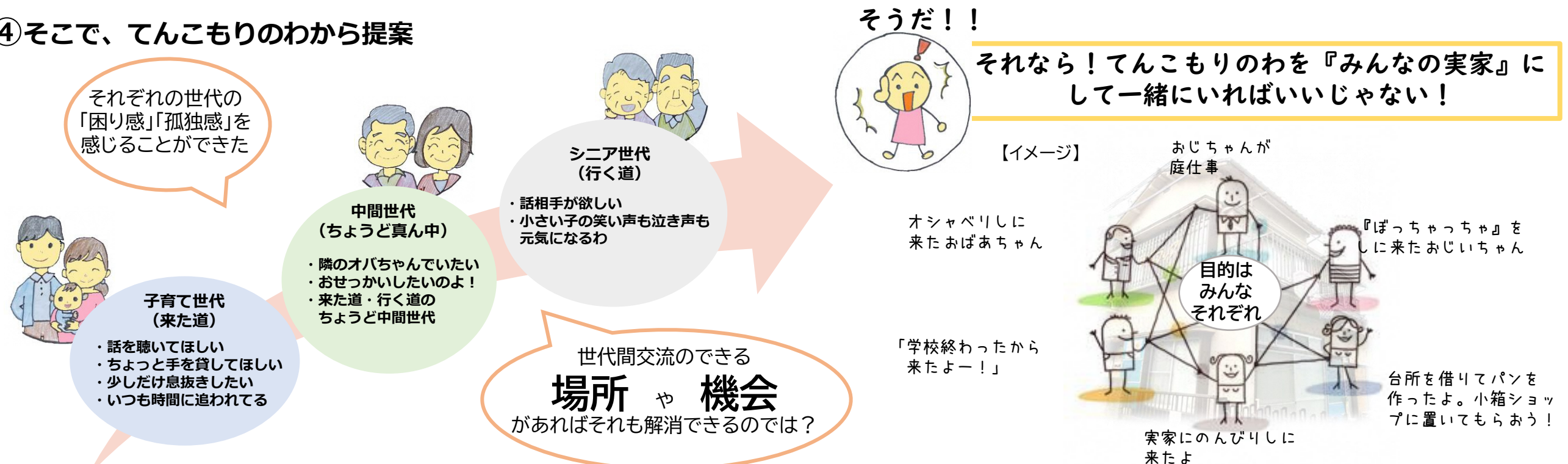
中間世代（50代60代～）

- ・夫が今年定年し、昼間家にいるのよね・・・ボケないか心配
- ・町内会の活動に興味を持たない人、活動したくない人が多い
- ・てんこもりのわって子どもの行くところだと思っていた
- ・最近引っ越してきた新しい人と知り合うきっかけがない
- ・自分の子育てはひと段落 時々孫のお世話
- ・仕事はしているが、時間の融通が利く
- ・時間、生活にゆとりがある
- ・自身の子どもが小さい時に、PTA活動が盛んで積極的に参加
- ・おせっかい大好き(手出し・口だしを惜しまない)
- ・実家は遠い(ない)ので、シニアの交流も負担ではない
- ・孫が生まれて嬉しいけど戸惑いもある
- ・話を聴いてくれて安心
- ・「自分の子ども世代」の若いパパママと接することで勉強にもなる

シニア世代（70代80代～）

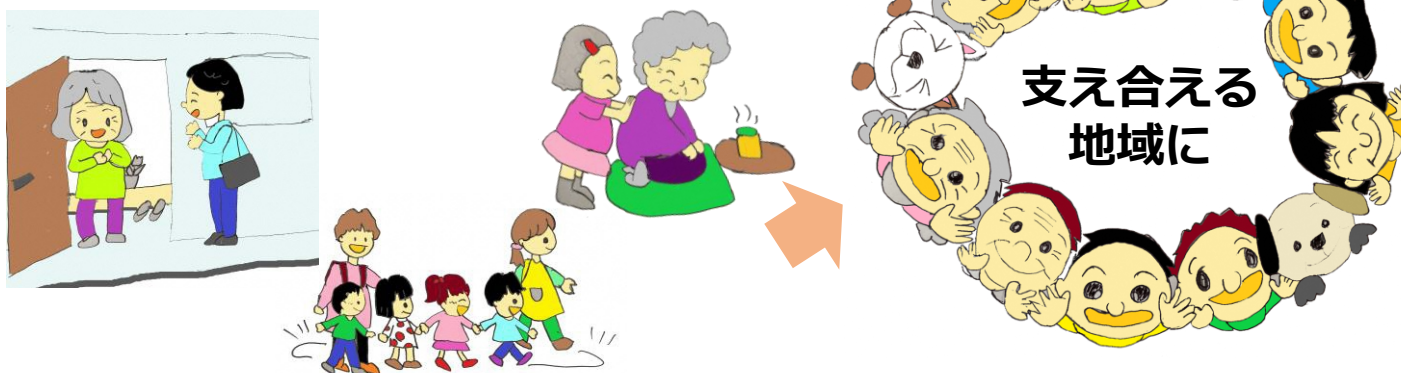
- ・家で家族がリモートで仕事や学習をしているため家にいづらい
- ・リハビリには行くけどデイサービスには絶対行きたくない
- ・子ども家族と一緒に住んではいるけど、あまり会話はしない
- ・以前やってた『ふれあいランチ』楽しみだったのに淋しい
- ・日中独居の人が多い
- ・デイサービスや体操教室行きたくないわ！
- ・もう孫も大きくなって、遊びに来ることも少ないの
- ・町内会館に行くのも不便
- ・山を登るのも下るのも大変
- ・元気だけど、どこに行ってもいいか？行き場がない
- ・何か楽しめることをしたい
- ・ずっとやってきた趣味を活かせる場がほしい
- ・まだ元気だから、何か地域に貢献したい

④そこで、てんこもりのわから提案



⑤目指す地域の将来像

顔見知りが増え、ちょっとした「見守り」「ふれあい」「助け合い」があちらこちらで発生して



『てんこもりのわ』に遊びに来たらいつの間にか顔見知りが増えてた♪

⑥開催イメージ

日	月	火	水	木	金	土
/	/	居場所の日	町の達人の日	居場所の日	シニアの日	不定期でイベント開催